

建設の機械化

1994.7

No.533



◆巻頭言 「変革」の時代をどう生きるか……………	安達俊雄	1
GPSによる測位技術の開発……………	石崎武	4
港湾に係る民間技術の評価制度についての最近の適用事例 ——「自航式水中視認装置」など……………	東山茂	10
荒川河口橋上部工の施工……………	岡原美知夫・小淵榮二	14
大型クローラクレーン（250tつり以上）の建設工事に対応した 仕様選定の概要……………	原正敏	22
曲線推進工事用自動測量ロボットの開発……………	野沢有	29
◆ずいそう ゆとりの中の満足感……………	小森準太郎	36
◆ずいそう 「歩く」楽しみ……………	浅野井恭	38
◆平成5年度官公庁・建設業界で採用した新機種		
建設省……………	須田幸彦・姫野芳範	40
運輸省……………	宮地豊	45
JH日本道路公団……………	東孝弘	47
「21世紀の除雪機械を考える懇談会」提言について ……………	建設省建設経済局建設機械課	49
◆JCMA第45回海外建設機械化視察団報告		
国際冬期道路会議（IWRC）参加報告……………		53
グラビヤ——国際冬期道路会議		
◆平成6年度社団法人日本建設機械化協会会長賞・準会長賞・奨励賞		
総合機械化高層ビル施工システム（T-UP工法）……………		57
建設副産物リサイクル車“ガラパゴスBR200”の開発……………		59
超大口径シールド掘進機およびセグメント自動組立装置の 開発と実用化……………		61

JCMA

目 次



高速走行型ロータリ除雪車の開発	64
リーダレス型基礎工事用機械の開発と実用化	66
深層締固め用垂直振動ローラの開発	67
◆わが工場 新キャタピラー三菱 明石事業所	藪本明毅 69
◆海外情報	73
◆新機種紹介	調査部会 74
◆文献調査 何でもつかめる便利なフタ/Rotex社が新方式の表層ドリルを開発/漏れない着脱カブラ/ロックドリルハンドルの実用性能試験/下水道修理用ロボットの多機能化	文献調査委員会 77
◆整備技術 移動式クレーンの安全装置の使用状況を外部表示することについて	整備部会 81
◆統計 建設工事受注額・建設機械受注額の推移	調査部会 84
行事一覧	85
編集後記	(東山・和田) 88

◇表紙写真説明◇

振動ローラ SW 750 酒井重工業株式会社

本機は、大型舗装工事向け締固め機として、安全かつ効率的に、作業が行えるよう、開発された汎用機である。

国内では近年振動ローラの使用範囲に広がって来ており、その要望に答えられるようにSW 750は、路床、路盤から表層まで対応可能となっている。また、コンバインド型TWを開発するとともにSW型のバリ

エーションとして重量および、起振力の大きいH型、2分割ロールのS型、章動ローラのN型、垂直振動のV型を同時開発し、幅広いニーズの対応が計られています。

＜本機的主要仕様＞

自重	8,550 kg
総重量	9,150 kg
起振力	6,000/8,000 kg
締固め幅	1,680 mm
ローラ径	1,220 mm